



ともかき

第24号

発行：妻垣神社社務所
宇佐市安心院町妻垣203番地
発行日：令和3年10月1日
電話：0978-44-2519
<http://www.tumagakijinnjya.com>

みたま慰めの舞「やすらかに 眠れとぞ思ふ きみのため 命ささげし ますらをのとも」 香淳皇后御歌

大忠魂碑建立一〇年 安らかに眠れと英霊へ巫女舞奉納

去る八月二十九日、宇佐両院

平和祈願祭（戦没者慰霊祭）が

斎行されました。本年令和三年

（二〇二一）は斎場にそびえる

大忠魂碑が明治四四年（一九一

一）に建立されてより、一一〇

年となります。本来であれば遺

族を始め関係各位参集のもと、

賑々しく執り行うところであり

ますが、新型コロナウイルス第五波の真只中というこ

ともあり、総代のみで執り行いました。祭典では節目の

年ということもあり、英霊へ捧げる巫女舞「みたまなご

めの舞」を御神前にご奉納いたしました。

また祭典に先立ち、七月には平和学習の一環として、

安心院中学校の二年生による清掃活動が二年ぶりに実

施。前日には総代たちが周辺の草刈りをおこないました。

忠魂碑建立趣旨文

明治四十四年四月

英霊は靖國神社に祀られているが、ここ山中部は遠距離で交通も不便なので参拝もままならない。そこで宇佐郡十ヶ村で、郡の中心となる妻垣神社の西南の位置に大忠魂碑を建設したい。しかしその予算は三千円余り（現在の金額で約1500万円）かかるので、一人二人の力では如何ともしがたい。そこで分相応に資を投じていただき、この大事を成し遂げたい。



忠魂碑周辺の草刈りをする総代たち

夏詣 風鈴まつり 神の気配を風鈴の音に感じて

伊勢の神宮に詣でると正宮正面には南御門がそびえ、純白な帳（とぼり）が下がっています。参拝の時、風が吹き、その大きな帳が巻き上がれば、神様が歓迎して下さっているとされています。まさに風は、そこに神様を感じる現象の一つです。

さて当社は小高い台地上に鎮座しており、かつて夏になると近所の人々は風が通る参道にゴザを敷いて涼をとっていました。また子供たちは川で泳ぎ、衣服が乾くまで神社拝殿に寝転がり昼寝をしていたと、総代や近所の人たちが当時の思い出として話して下さいます。

このように境内には心地よい風が吹くため、今年の夏、悪疫コロナウイルスの早期収束を始め、風に揺れる風鈴の音色に涼を感じていただこうと、梅雨明けの7月中旬より拝殿に風鈴を下げてみました。すると県外からの参拝者より「田舎の神社でも風鈴を下げていることに感動した」という声や、「風鈴を購入する資金にしてください」と奉賛金を頂戴することもありました。おかげさまで数個だった風鈴は奉賛金を頂戴する度に増えていき、その数は108個となりました。

数が増えていくことで、風鈴の美しさに加え、音の厚みも増し、「風鈴を売ってほしい」「下げている短冊がほしい」など、多くの方の反響やご意見を頂戴しました。短冊につきましてはご要望を受け、「四霊獣吉祥守札」として奉製し、社頭にて頒布しております。（数量期間限定）

来年は今以上に数を増やし、参拝者には短冊に願い事を書いていただくかと思案しております。



風でゆれる五色の短冊

茅の輪をくぐる親子



来年は6月26日を予定しております

夏越大祓祈願祭 茅の輪をくぐって無病息災

昨年来の悪疫コロナウイルスに打ち勝つため、夏越大祓式に併せて、今年も境内に疫病を祓い除く力がある「茅の輪」を設置。期間中、多くの方にくぐっていただきました。またコロナの影響でしょうか、全国では「茅の輪神事」をおこなう神社が増えており、あらためて先人より受け継いできた伝統が、疫病によって見直されていると感じます。

当日の祈願祭には、遠くは山口県、北九州市、大分市と、町外からもご参拝戴き、妻垣神社の御神威の広がりを感じている次第です。

瑞兆に姿をあらわす 吉祥を祈って四霊獣探し



龍



鳳凰



麒麟



霊亀：「吉凶」
治水の才を持つ帝王が生まれると姿を現す亀

龍：「変幻」
優れた知性を持つ人が生まれると姿を現す霊獣

鳳凰：「平安」
平安な治世に姿を現す五色の霊鳥

麒麟：「信義」
仁の心を持つ君主が生まれると姿を現す一角の霊獣

Google

参拝者からの口コミ

美しく清められた心洗われる神社。涼やかな風鈴が整然と吊り下げられて、風に揺れながら心地よい音を奏で、参拝者を迎え入れてくれる。ご朱印は透明袋に収められていて ここにも心遣いが感じられる。

いつ行ってもきれいで清掃が行き届いていますね。

大分県の静かな山村にある神武天皇所縁の凄い神社。神職は常勤ではありませんが、とても綺麗に整備されています

静かな場所にあって、とてもきれいですね。

境内は綺麗に整備されていて、心の落ち着く場所でした。

手入れの行き届いたお宮でした。

朝、霧が発生することもあり、少し神秘的。

訪れて良かったです

世界遺産日光東照宮など神社の建物には様々な彫刻が施されています。彫刻には牡丹や菊・松竹梅などの縁起の良い植物以外に、瑞兆（良いことの前ぶれ）に姿を現すとされる霊獣も彫られています。それら瑞獣の中でも最も尊ばれる四つの霊獣、総称して四霊（しれい）がいます。江戸期に建てられた当社社殿も素朴ながらいくつかの彫刻が施されており、その四霊が彫られています。これら瑞獣たちは神社の守護はもちろんのこと、我々後世に生きる人々の幸福を祈って先人たちが施したものです。

私たちは今尚、未曾有の悪疫“新型コロナウイルス感染症”から抜け出せずにいます。災厄は突然やってきて私たちに降りかかります。前号でもご紹介した通り、当社は病氣平癒のご利益があるとされています。ご参拝の折りには社殿を一回りして、瑞兆を呼ぶ霊獣たちを探してみたいかがでしょうか。皆様にご多幸あらんことをお祈り申し上げます。

神社本庁「過疎地域神社活性化推進事業」

妻垣神社が大分県指定神社に選定されました

期間…令和三年七月一日～令和六年六月三十日

現在、我が国が抱える様々な問題の一つとして、過疎高齢化・人口減少があります。この問題は神社も例外ではなく人口減少に伴い、今後地方において消滅する神社が増加するという事です。全国約八万社の神社を包括している神社本庁では、この問題を最重要課題の一つとして位置付け、「過疎地域神社活性化推進事業」として、過疎地域で将来的に核となるであろう神社を選定し、神社を中心とした諸活動によって、周辺地域及び神社の発展・維持に繋げていくことを目指しています。

この度、この事業に当社が大分県代表として指定を受けることとなりました。県内には約二一〇〇社の神社がありますが、その中より選ばれたことは大変栄誉なことであります。期間中は従来おこなってきた神社祭典の充実、境内の整備、氏子崇敬者の教化活動などに加え、中核となる神社となるべく活動を展開する予定です。

コロナ禍で制約のある中、どのようなことが出来るかは不透明ではありますが、氏子崇敬者の皆様には期間中も平素と変わりなくご助力賜りますようお願い申し上げます。上げる次第でございます。



10/23.24 の秋季大祭 昨年同様に規模縮小 令和 4 年正月初詣も安心してお参りを

今後の祭典行事

秋季大祭

ワクチン接種も順調に進み、少しずつではありますが、明るい兆しが見えつつあります。しかしながら、現時点において少しでも不安がある中での実施は難しいとの判断となり、本年も密となる神輿の出る神幸祭を始め、神楽、もちまきなどの神賑行事を中止と致します。尚、例大祭につきましては 24 日午後 3 時より齋行致します。ご理解の程お願い致します。

正月初詣

当社は境内が広く、間隔をとって参拝できます。そのおかげかコロナ禍の本年は例年以上の参拝者となりました。神社では感染対策を講じてお迎え致しますので、どうぞご参拝くださいませ。詳細につきましては年末折込チラシでご確認下さい。



10/23 の夜は 230 基の提灯が参道を照らします



拝殿前に飾られる大真榊